

ひろば

福岡教育大学附属図書館報 第144号

寄贈図書特集

Side A : 後援会寄贈図書・真弓文庫の紹介
Side B : 教職員寄贈図書紹介

新しい季節を迎えました。気分も新たに読書はいかがでしょう♪

後援会寄贈図書・真弓文庫の紹介

必ず誰もが立ち寄る人気のスポット！

後援会寄贈図書コーナー（図書館二階のAVルーム横）に、今年も新刊が仲間入りしました。（後援会寄贈図書 285冊・真弓文庫 47冊）

視聴覚資料コーナー（図書館カウンター前）にもDVDが追加され、皆さんをお待ちしています。（後援会寄贈 56本・真弓文庫 6本）

図書館HPにリストを掲載していますが、館内OPACからも検索可能です。希望の図書が貸出中であれば、予約しましょう。視聴覚資料は館内での視聴となりますが、授業の合間にちょっと気分転換されてはいかがですか？



視聴覚資料コーナー

文学賞受賞作品

芥川賞	朝吹真理子	「きことわ」	新潮社
	西村賢太	「苦役列車」	新潮社
直木賞	木内昇	「漂砂のうたう」	集英社
	道尾秀介	「月と蟹」	文藝春秋
本屋大賞	東川篤哉	「謎解きはディナーのあとで」	小学館 など

ベストセラー図書

岩崎夏海	「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」	ダイヤモンド社
村上春樹	「1Q84」	新潮社
タニタ	「体脂肪計タニタの社員食堂」	大和書房
柴田トヨ	「くじけないで」	飛鳥新社
ダン・ブラウン	「ロスト・シンボル」	角川書店
姜 尚中	「母 -オモニ-」	集英社
冲方丁	「天地明察」	角川書店
マイケル・サンデル	「これからの「正義」の話をしよう」	早川書房
夏川草介	「神様のカルテ」	小学館 など

学習・思考関係図書

「忘れてしまった高校の英語を復習する本」	中経出版
「池上彰の新書活用術」	ダイヤモンド社
「1 分間日本史 1200」	水王舎
齋藤孝 「暗記力」	NTT 出版
松野弘 「大学生のための知的勉強術」	講談社
マイケル・サンデル 「ハーバード白熱教室講義録+東大特別授業」	早川書房 など

視聴覚資料 (DVD)

書道ガールズ!! わたしたちの甲子園	
シャーロック・ホームズ	
私の中のあなた	
ゴールデンランパー	
新感覚☆キーワードで英会話 1-6	
新感覚☆わかる使える英文法 1-6	
NHK外国語会話 GO!GO!50 ハングル講座 1-2	
NHK外国語会話 GO!GO!50 中国語会話 1-2 など	



そのほか参考書・語学学習資料・学生リクエスト図書など

本との出会いは、人との出会いと似ています。疑問が解決したり、夢が大きくふくらんだり、良き師と出会ったり、未知のチャンスに満ち満ちています。皆さんからのリクエストも、どしどしお寄せください。お待ちしております！

福岡教育大学後援会および社会科教育講座・玉置先生（真弓文庫）からの寄附により、本学学生のために一般教養図書・視聴覚資料を購入できることを、図書館職員一同心より感謝いたします。

教職員寄贈図書紹介

22年度、図書館にご寄贈いただきました先生方の著書をご紹介します
 図書館開架室に配架していますので、どうぞご利用ください！

浜本純逸監修 松崎正治編 東和男[ほか]執筆

『文学の授業づくりハンドブック：授業実践史をふまえて 第2巻 小学校・中学年編』



溪水社

2010年5月発行

本書には、先行実践を把握した上で新しい実践の創造に取り組んで欲しいという願いが込められている。中学年の国語教科書に掲載されている文学教材から「ごんぎつね」など7編と3人の詩人を取り上げ、実践記録の到達点と今後の課題を明らかにしている。わたくしは3月初め、ある学校で「モチモチの木」の授業をした。クライマックス場面、豆太が「走る」について、上越教育大の有沢俊太郎先生の指摘、「教師の発問（あるいは課題）は、『何が豆太を走らせたのか。』というものでなければならない。『なぜ豆太は走ったのか。』では（中略）『爺さまが大すきだったから』で学習は終わってしまう」を知っていたわたくしは、先生に従って授業を展開した。そして、「死んでほしくない」「一人はいやだ」「助けたい」等の「熱い心」が彼を走らせたという豊かな読みを得ることができた。

この書は、このような役割を果たす。授業の少なくとも1カ月前に読んで欲しい。なお、1980年代に発行された『作品別・文学教育実践史事典』（第1集）（第2集）（ともに明治図書）も参考にさせていただくとありがたい。

（文：教職実践講座 東 和男先生） < 第2開架室 375.8/B 89/2 >

若木常佳著 『話す・聞く能力育成に関する国語科学習指導の研究』



風間書房

2011年3月発行

指導要領でも言語活動の重要性が指摘されていますが、本書は、その言語活動の中の話す・聞くことについて取り上げたものです。話す・聞くという音声言語に対する指導においては、情意的側面・技能的側面・認知的側面の3側面からのアプローチが必要ですが、その指導の中核となるものが、認知的側面、つまり人間のアタマの中で瞬間的に行われる情報処理です。しかし、瞬間的ということ、人間のアタマの中という可視できない部分に対する指導ということ、そして教室での指導者(教員)自身が学習者であった時代に、読むことや書くことほどには指導されていなかった可能性が高く、学校現場での指導の困難性が指摘されています。本書は、そうした問題に対し、何をどのように指導すればよいのかということについて記してあります。

なお、本書は、独立行政法人日本学術振興会より平成22年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)を受けて刊行されたものであることを申し添えます。

（文：教職実践講座 若木 常佳先生） < 第2開架室 375.8/W 19 >

★ほかにも御寄贈いただいておりますが、全てをご紹介できず申し訳ございません。

1. 寺尾慎一著 『豊かな学びをひらく授業の構想』 梓書院 2009.10
 < 福教大コーナー（第4開架室） 375.1/Te 58 >ほか
2. 福沢周亮, 小野瀬雅人編著 有川誠 [ほか]執筆 『教科心理学ハンドブック：教科教育学と教育心理学による“わかる授業の実証的探究”』 図書文化社 2010.3
 < 福教大コーナー（第4開架室） 371.4/F 85 >
3. 教員養成系大学保健協議会編 照屋博行 [ほか]執筆 『学校保健ハンドブック』 ぎょうせい 2009.10
 < 福教大コーナー（第4開架室） 374.9/Ky 4 >ほか
4. ジェームズ・W・シーザー著 竹島博之 [ほか] 訳 『反米の系譜学：近代思想の中のアメリカ』
 ミネルヴァ書房 2010.7
 < 福教大コーナー（第4開架室） 319.5/C 28 >ほか

皆様どうもありがとうございました